

Shinsaibashi Reform Magazine

vol.3



Reform Clinic
by
Dr.Kumiko

Reform Clinic
by
Dr.Kumiko

あの名品が現代に蘇る!!
Dr.久美子のリフォームクリニック
中途半端に古〜い昔前のジャケットの巻





コンテンツのなかには
多くの before & after 例を
紹介していますが、
ここでは私が
いつもさせていただいている
フィッティングの模様を
ご紹介します。
捨てられなくて筆筒のなかで
眠っていた名品の数々は
こうして生まれ変わりますと
いう仕上がりも同時に
ご覧いただければ幸いです。



内本久美子 _ Uchimoto Kumiko

心斎橋リフォーム副社長
丸の内店店長兼チーフフィッター
大阪府大阪市出身 O 型 蠍座

大手百貨店の販売を経て、個人でお直し工房をはじめる。職人の手ほどきを受け、ゼロからスキルアップを果たす。心斎橋リフォームの礎となる接客から始めるリフォームを築き上げた同社の顔であり、業界のパイオニア的存在でもある。





Reform Clinic by Dr.Kumiko



今回は我がWEBマガジンのグルメページを担当している謎の弊社会長、心齋橋三郎からルイジ・ボレッリの洒落た一着を預かりました。

紳士服は婦人服に比べ、流行のサイクルが極めてのんびりですが、流石に10年近く経つと随分古臭く見えます。

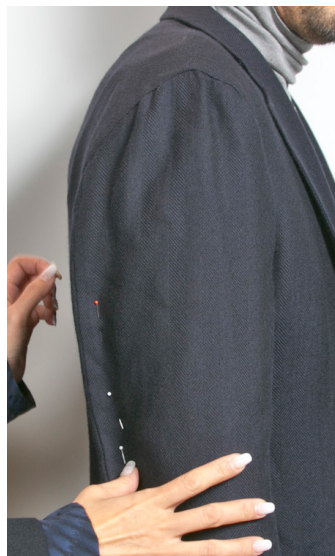
今巻は皆さんのお手元にもあるであろう中途半端に古いジャケットのリフォームをご覧いただきたいと思います。

紺ジャケは着回しが効いて使いやすいアイテムですから男性が不滅の定番と仰るのは頷けます。しかし、シルエットは毎年少しずつ変化して行くのが常です。購入して5年程度はあまり変化は感じられませんが、流石に10年程度経つとかなり古臭く感じます。

1
預かったジャケットを現代のものと比較すると、重心が低いのがお判りかと存じます。ボタンもゴージの位置も低いですから、すべての重心を上げて行かないとサマになりません。そこで全体のバランスが変わらないように肩線から着丈を詰めて行きます。今回は3センチ詰めましたので、ゴージもウエストの位置も3センチ上がります。



2
次に身幅をフィットさせます。さほどオーバーサイズではないのですが、全体の雰囲気を変えないように程よく調整して参ります。



3
いつもの通り、身幅に合わせてアーム幅を調整していきますが、お預かりしたジャケットはナミカ・カミーチャですからもともと袖付けの部分に余裕があります。それを踏まえて上腕の太い部分から袖にかけて綺麗にテーパードのラインを描くように袖を作っていきます。

4
またこのジャケットはタンスのなかに随分放っておかれたようで、妙な癖がついてしまいました。それゆえ第一ボタンの部分が綺麗に返らなくなってしまったのです。そこでこの部分を再度調整して綺麗に段が返るように仕立て直しをしました。



5

最後に袖丈を調整して完了です。



6

左側がオリジナル、右側が直し上がりのサイズ感です。



before



after

after

如何でしょう？
どの角度から見ても
綺麗じゃないですか。



従来の軽くソフトなフィット感やシルエットはそのままに、現代の定番ジャケットとしてのベーシックが備わっていると思いませんか!! お気に入りのワードローブは5年、10年と着続けますが、ふとした時に違和感を感じたら、是非心斎橋リフォームへお持ちください。ちょっとしたお直しで見違えるシルエットを作り出すことができます。まずはご相談だけと仰る皆様を歓迎致します。